

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	子ども療育センター笠岡学園		
○保護者評価実施期間	R8年3月1日 ~ R8年 3月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日 ~ R8年 3月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づき、発達状況や特性・興味を活かした個別最適な療育の実施	視覚刺激の調整や活動場所の使い分け等によるわかりやすく集中しやすい環境設定	法人内こども園との交流機会を増やすことによる社会性発達支援の強化
2	発達支援・家族支援・地域支援をバランスよく取り入れた包括的な支援体制	合同の療育や散歩、共有スペース活用による多様な経験機会の提供	保護者ニーズを踏まえた支援計画や行事の見直しによる個別性・満足度の向上
3	多様な遊びや交流機会を通じた主体性・社会性を育む支援環境	連絡帳・送迎・懇談等を通じた継続的かつ多面的な情報共有と関係づくり	研修の継続実施と参加しやすい工夫による職員・保護者双方の理解促進と負担軽減

	事業所の弱み(※)だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	法人内こども園との交流機会が十分に確保できていない	行事や交流の機会が日程・運営上の制約により十分に設定できていない	こども園との連携を計画的に進めるなど交流機会の定期化・拡充
2	親子行事や研修が多く、保護者負担が増加する可能性	各家庭の事情により参加しやすさに差が生じている	短時間・自由参加・参観日併用等による参加しやすい行事・研修の工夫
3	保護者同士の交流機会が限定的(機会・頻度に偏り)	支援内容の充実に伴い時間的・心理的負担への配慮が難しい	内容精査による情報共有の効率化と保護者負担の軽減